



2月15日 釜石高校SSH課題研究発表会【釜石市民ホール TETTO】

地域と学びを深める

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されている釜石高校の生徒らが、興味を持った分野を1年間探究した成果を報告する発表会が開催されました。当日は大学教授や地域住民なども参加し、意見交換が行われました。「人々に愛される音楽の特徴～バズる音楽とは～」や「MBTIと職業の関係性」など高校生ならではの視点で研究テーマが設定されており、それぞれが興味を持った分野の理解を深めました。



2月2日 第12回新春韋駄天競走【仙寿院節分追儺会内】

津波の教訓を後世へ

津波発生時の速やかな避難行動を啓発する行事「新春韋駄天競走」が開催され、1歳～80歳までの111人が参加しました。コースには急カーブや傾斜がきつい坂もあり、幼い子どもたちは両親に手を引かれ、小学生以上は日頃のスポーツ活動で鍛えた脚力を発揮し、ゴールを目指しました。

東日本大震災から14年。震災を経験していない子どもたちも、いざという時の避難の大切さと災害への心構えを体で覚える貴重な1日となりました。



ご寄付ありがとうございます

2月17日 市長室

【日赤令和6年能登半島地震災害義援金】

釜石商工高校様



「商工祭」にて実施した“商工マーケット”的売上的一部分をご寄付いただきました。

2月27日 市長室

NPO法人Plus One Happiness様



着替えに介助が必要な障がい児が、プールを利用できるように、釜石市営プールに、男女共用の着替えスペースを確保するための資金としてご寄付いただきました。

おめでとうございます

2月17日 市長室

厚生労働大臣表彰



元民生委員・児童委員の故浅田俊子さんが、功績が顕著であると認められ表彰されました。（ご遺族の浅田早苗さんが代理で受領）

2月20日 市長室

復興大臣感謝状贈呈



釜石ガイド会
藤原信孝さん
(株)かまいしDMC
佐々木智恵さん
佐々木智桜さん

震災伝承の第一線で活躍する語り部に復興大臣から感謝状が贈呈されました。

2月26日 市長室

交通事故抑止18カ月達成賞賛状伝達式



釜石市内において18カ月交通事故の発生がないことから、交通関係者の活動が称えられ賞賛状を受賞しました。

2月26日 市長室

第29回いわてユネスコ賞 教育賞 受賞



小川しし踊り保存会が、小佐野小学校や地域の子どもたちに「しし踊り」を指導する取り組みについて、文化や教育分野などで模範的な活動として称えられ受賞されました。

2月6・7日 魚捌き出前授業【平田小学校】

地元の食材で煮つけづくり

平田小5・6年生は、地元の食材であるナメカタカレイを使用した魚捌き出前授業を受けました。講師を務めた釜石市地域おこし協力隊の清原拓磨さんや岩手大学の学生、学校ボランティアの皆さんから来校し、児童らはウロコの取り方や捌き方を教わりました。初めて魚を捌く児童がほとんどだったため苦戦していましたが、各班で協力して煮つけを作りました。完成した煮つけを「おいしい」と微笑みながら頬張りました。



2月9日 かまっこまつり【釜石市民ホール TETTO】

わたしたちが主役！

「子どもたちのやってみたいことを叶える」「子どもたちと地域の人たちがつながりをつくる」ことを目的にかまっこまつりが開催されました。市内の子どもたちが中心となって運営した雑貨販売やスライムづくり、射的などの9店舗には、約370人が来場しました。順番待ちが出るお店や商品が完売したお店もあるなど大盛況で、来場者は子どもたちの接客に笑みを浮かべながら交流を楽しんでいました。



2月9日 第14回全国虎舞フェスティバル【釜石市民ホール TETTO】

勇壮な踊りを披露

全国虎舞フェスティバルが開催され、市内外から10団体が出演しました。幼児から高齢者まで幅広い年代がステージに立ち、各団体それぞれの特色ある動きに、来場した約1,500人は魅了されリズムの良いお囃子や太鼓、きれいな笛の音色、勇ましい虎舞の動きに感銘を受けました。

また、普段目にする機会が少ない宮城県気仙沼市や大槌町の虎舞の勇ましい踊りに会場は拍手で包まれました。

